

4 年 1 組 道徳科学習指導案

授業者 野原 晴美

1 主題構成表

主題名 正直に明るい心で
資料名 心のつな引き

■ 内容項目 A 正直，誠実
過ちは素直に改め，正直に明るい心で生活すること。

■ 価値の分析

- ・ 児童が偽りなく真面目に真心を込めて明るい心で生活するためには，約束や法，きまりの意義を理解したうえで，ものごとの善悪についての的確に判断し，他者への真心を大切に公正，公平に振る舞うようになることが求められる。
- ・ 中学年では，うそやごまかしは他者だけでなく自分自身をも偽ることになり，その結果自分自身に対して不快な感情をもつようになることに気付かせる。また，身近な仲間集団の存在が大きくなり，つい誤った行動をとってしまうこともでてくるため，集団に安易に流されることなく，強い心をもって正直に行動することが必要であることを自覚させる。
- ・ 自分の不利な立場を回避しようとうそを言ったりごまかしをしたりすることなく，自分自身の判断や良心に耳を傾け，正直で誠実な行動を選択することが，満足感とすがすがしさを得られることに気付かせ，素直に反省したり改めようとしたりする行動を価値付ける。

■ 内容項目から見た児童の実態（意識）

- ・ 高学年になり，下級生の手本になろう，すべきことはきちんとしようという前向きな気持ちで，学習や係活動に対して誠実に取り組む児童が多く見られる。その反面，すべきことよりもやりたいことを優先させてしまったり，周りの仲間に流されて正しい判断ができなかったりすることもある。
- ・ あいさつや係の取組できちんとできない時に，やり直して自分たちで行ったり，考えて改善策を考えたりする姿が見られるようになってきた。しかし，個人では，仲間の注意の声に素直に応えられなかったり，すべきことができていないことを言い出せなかったりする傾向も見られる。

（要因）

- ・ 目先の結果にとらわれて，ついごまかしたり欲求を抑えられなかったりしてしまうなど，正しい行動を選択する判断力が十分身に付いていない。
- ・ 心の葛藤を乗り越えて正しいことを貫いたことに対して自信をもった体験が十分ではない。

■ 資料の分析

- 心のつな引き
- ・ 正直に言おうとする気持ちと正直に言えない気持ちが生み出す葛藤が，イラストによってとらえやすい。また，二つの心情やその葛藤について共感しやすい。
 - ・ 正直に言えないときの気持ちを考え，仲間と交流して深めることで，自分の弱さを自覚したり，その弱さは誰にでもあるのだと気付いたりすることができる。
 - ・ 二つの心情で「心のつな引き」をさせることで，弱い気持ちを乗り越えて，正直に言おうとするものの価値に迫ることができる。
 - ・ 正直に言えた後の気持ちを考えることで，満足感やすがすがしさに共感し，以後の生活に生かそうとする意欲につなげることができる。

■ ねらい

うそをついたりごまかしたりしてしまう弱さを乗り越えて正直に行動することのすがすがしさに気づき，明るい気持ちで生活しようとする心情を育てる。

■ 展開の構想

- ・ 「すなおな心」の言葉から，本時のねらいを明確にする。
- ・ 「心のつな引き」で，イラストを見ながら自分にも正直に言おうかどうか迷った経験がないか振り返る。
- ・ 正直に言おうとした時の気持ちと正直に言おうとしなかった時の気持ちを，自分の経験をもとに考えて交流し，内面的な弱さやその弱さを乗り越えたことを価値付ける。
- ・ 正直に言えた時の気持ち，言えなかった時の気持ちを振り返り，正直な行動を取った後のすがすがしさやその行動に対する自信を自覚させ，正直に行動することを再度価値付ける。
- ・ 自分の生活を振り返り，正直に行動できたりできなかったりした経験とその時の気持ちを交流し，うそをついたりごまかしたりせず正直な行動を取ろうとする意欲を高める。

■ 判断力・心情・実践意欲を高める工夫

- [中心発問] 「『正直に言えた気持ち』『言えなかった気持ち』を考えよう。」という問いから，両方の立場の気持ちを考え，正直に言うためにどんな気持ちを乗り越え，どんな考え方をする必要があるのかを明確にすることで，普段の生活に生かそうとする意欲につなげる。
- [言語活動] 中心発問に対して自分の考えをノートに書く活動を通して，正直に言うか言わないかの葛藤が自分の中にあることに気付くことができる。
- [学習形態] グループ交流によって，仲間の多様な感じ方や考え方に触れ，個の意見を深めたりより明確にしたりする。

■ 道徳科と他の教育活動との関連 （ 補充 ・ 深化 ・ 統合 ）

学活「休み時間の様子を振り返ろう」→道徳科「心のつな引き」→学活「学級の諸問題を解決しよう」
個人や班，学級の様子を振り返り，自分たちの弱い気持ちや行動について正直に交流することで，正直に明るい気持ちで生活することに対する意味や自分との関わりについて一層考えを深める。

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	小見出しにある「すなおな心」とは、どんな気持ちなのか考え、本時のねらいを明確にする。 ○「すなおな心の持ち主」ってどんな人のことだろう。 ・うそをつかない。 ・ごまかさない。 ・言われたことをちゃんとやる。	・「すなお」の言葉から想像し、次に「すなおな心の持ち主」で自分の周りにいる人について考えることで、自分の姿と関わらせられるようにする。
展開前段	資料「心のつな引き」について話し合う。 ○「『心のつな引き』で自分と向き合おう」のイラストを見て、正直に言おうかどうか迷った経験がないかを振り返る。 ・家であまりよくない点数のテストを見せるか。 ・ドッジボールで当たったけど、ばれていない。 ・宿題を忘れてしまった。 ○「窓ガラスをわってしまった」場面で、正直に言うか言わないか迷う気持ちを考えよう。 (正直に言えない気持ち) ・黙っていたらそのまま過ぎるかもしれない。 ・叱られるのはいやだ。 ・言わないといけいないけど、言い出す勇気がない。 ・言った後に、みんなにも嫌なことを言われる。 (正直に言おうとする気持ち) ・自分が忘れたんだからちゃんと言わなくては。 ・黙っていたらいけない。 ・ばれたら、もっと叱られる。 ・言わずにいるのはいやだ。 「正直に言えた時」「正直に言えなかった時」の気持ちを考えよう。 (正直に言えなかった) ・言わなかったことがばれたらどうしよう。 ・叱られなかったけど、ときどきする。 ・やっぱり言わなければいけなかった。 (正直に言えた) ・あーあ、叱られてしまった。もう忘れない。 ・みんなの前で叱られて恥ずかしかった。 ・黙っているよりはよかった。 ・叱られたけど、すっきりした。 (気持ちの違い) ・言った後のすっきりした気持ちがあるか。 ・心の中に、もやもやしたものが残るか。 ・自分のことをほめてあげられるか。 ・ばれないかどうか、ずっとときどき心配しなければならないか。	・導入で出た「すなおな心」と「正直で明るい心」をつなげることで、ねらいを明確にする。 ・イラストから、一つの場面で同時に両方の気持ちがあることをおさえ、心の葛藤があることにつなげる。 ・言えない気持ちの中にも「言わないといけいない」「言ったほうがいい」気持ちがあること、言おうとした気持ちの中にも「正直に言うことに対する不安」「言いたくない」気持ちがあることをおさえることで、心のつな引きの状態をより深く考えさせる。 ・グループ交流を通して、本音や深い気持ちを話したり聞いたりすることで、自分を振り返り、話し合いが深まるようにする。 ・両方の気持ちを道徳ノートに書くことによって、心の中に葛藤があることを自覚させ、自分の気持ちをはっきりさせる。 【深めの発問】 正直に言えた気持ちと言えなかった気持ちには、どんな気持ちの違いがあるだろう。 ・心の弱さを乗り越えることを価値付け、正直に行動しようとすることに憧れをもたせるだけでなく、行動はできなくても心の中に「そうしたい。」と思う正しい判断があったことを価値付けることで、気持ちを行動に移そうとする意欲を高める。 ・正直に行動することが、明るい気持ちで生活することにつながることを押さえることで、価値の大切さを確認する。
展開後段	学習のまとめをする。 ○自分の生活を振り返り、「正直に明るい気持ち」で生活するためにはどうするとよいのか、考えよう。 ・ついごみをしてしまっって、そのごみがいつまでも残っていた。自分でしたごみなのに拾わずにいて、そのごみを見るたびに、もやもやした気持ちになった。ちゃんと拾った方が気持ちがすっきりするから、これからは、心のつな引きで弱い気持ちに負けないようにして、いつもすっきりした気持ちで生活したい。	・自分の生活での様子を具体的に振り返ることができるよう、展開前段で出た意見の場面を想起させる。 ・学習した内容を想起させ、これからの生活で、心の弱さを乗り越えようとする意思表示ができるようにする。
終末	○教師の説話	変容の見届け ・うそをついたりごまかしたりせず、正直に行動することで、すっきりした明るい気持ちで生活したいと考えることができる。

4年2学期 道徳 実態分析・評価シート

内容項目	教科・領域・活動	内容	評価	よさや成長
A 正直、 誠実	国語	ごんぎつね		
	道徳	心のつな引き		
	学活	スクールフォーラムの取組を振り返ろう		
	行事	スクールフォーラム		
	行事	ひびきあい集会		
	特活	はりんこ活動		
	特活	クラブ活動の様子		
	日常	班活動		
	日常	あいさつ		
	日常	登下校の様子		
	日常	よいことみつけ		
	日常	掃除の様子		

< 2 学期所見 >

評価のしかた 視点 A 正直，誠実

道徳の授業

- ・正直に言えない気持ち，言おうとする気持ちを考え，発表することができたか。
- ・自分の生活を振り返り，正直に明るい気持ちで生活しようと思えることができたか。

ひびきあい集会

- ・自分の生活を振り返り，過ちを犯したと思ったときには，誠実に謝ろうとする正直さをもって生活できているか。

日常生活（班活動，登下校，掃除など）

- ・様々な活動の中で，うそをついたりごまかしたりせず，正直な態度で生活しているか。
- ・集団に流されず，強い心をもって正直に行動できているか。